

令和5年9月12日

保護者・生徒の皆さまへ

兵庫県立東播磨高等学校
校長 塚田 誠 司

50回目の創立記念日にあたって

9月13日は本校の50回目の創立記念日です。

本校は、昭和48年に地域の方々の熱い願いを背景に、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町、志方町の2市3町による広域行政協議会において、組合立普通科高等学校の開設が決定され、翌昭和49年4月に組合立東播磨高等学校が県立松陽高等学校の旧校舎に第1回生180名を迎え開校されました。その後、昭和51年に稲美町の現在地に新校舎が完成し、この麗しき稲美野に移転してきました。翌昭和52年1月に県立に移管され、兵庫県立東播磨高等学校として今日に至っています。2市3町による組合立普通科高等学校としてスタートした本校は全国的にも異例で、地域の願いが強かったと考えられます。そして本校で薫陶を受けて卒業された同窓生は各界で活躍しています。

本校教育活動の支柱は、初代校長馬場鉄夫先生が、教育の目標に掲げられた「高い知性」・「豊かな情操」・「逞しい意志と体力」・「個人の尊厳」であります。

本年度、創立50周年を迎える本校は、いつの時代にあっても、この「教育目標」を指標とし、「新しい東播磨高等学校の教育をどう展開していくのか」、そして「温かい人間力を備え、先行きの見えない時代であっても、未来への道を切り拓く力を持った生徒をいかに育成していくのか」という新しい目標に向かって、「挑戦と創造 ～To Be a Good School～」を合い言葉に教職員・生徒・保護者一丸となって取り組んでいきます。

創立記念日にあたり、その意味を生徒諸君一人ひとりが理解し、今後とも本校の教育目標を意識して行動することに一層邁進し、東播磨校生としての誇りを抱きつつ、学業や部活動等をとおして充実した高校生活を送ってくれるよう期待しています。